

事務所通信 リソース

2月号 VOL. 104



安心が私たちの商品です

税理士法人 中央総合会計

■ 旭川事務所 〒070-0037
旭川市7条通13丁目 59 番地 4
TEL: 0166-25-4131
FAX: 0166-25-4132
E-mail: cyuou@csk-i.com
URL: <http://csk-i.com>

■ 北見事務所 〒090-0023
北見市北 3 条東 2 丁目 14 番地
TEL: 0157-24-8866
FAX: 0157-24-6108
E-mail: cyuou-kitaimi@mocha.ocn.ne.jp

■ 相続相談センター
税理士法人 中央総合会計内相談室
TEL: 0166-25-4139



下記の【退職のご挨拶】つづき

私はその事を考えて日々、必死に営業して頑張っている社長達にはこれ以上「頑張れ！」とは言えませんでした。

中央総合会計での貴重な経験を大切にして今は病気を治す事に専念をしてまた一からスタートしたいと考えています。

皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。
(高橋 将章)

夢の後処理は？」

一攫千金は夢があつて魅力ですが、その後の適正な税務申告も大切です。競馬や競輪などの公営ギャンブルで得た所得は「一時所得」や「雑所得」として申告する義務があります。例えば競馬で馬券を自動的に購入するソフトウエアを利用して独自の条件設定などで多くのレースに挑戦し、年間を通しての収支で利益を得られた場合は雑所得に該当します。その際の外れ馬券の購入費用は必要経費となります。

一方、一般の競馬愛好家については一時所得に該当し、同一レース以外の外れ馬券の購入費用は控除することはできません。雑所得に該当する場合は、年間50万円までの競馬の払戻金には税金はかかりません。税金がかかる必要はありません。税金がかかるとしてもその対象は50万円を超えた金額の1/2となります。



会計検査院の発表によると、一定の抽出条件のもとで確認した結果約5300件で127億円の払戻金があったそうです。このうち一時所得や雑所得で適正に申告されたのは5000件、約20億円にとどまったとか。

現在、馬券の払い戻しの窓口では購入や払戻金の受け取りの本人確認は不要で、主催者側が税務当局に通知する仕組みもあります。そのため適正な申告を促す取り組みが課題となつています。

ちなみに宝くじの当選金は非課税です。ノーベル賞も非課税ですが、私達にはあまり関係ありませんね。

【退職のご挨拶】

高橋 将章

この度、私事ですが1月18日をもって中央総合会計を退職いたしました。入社して約10年が経とうとしていたが持病が悪化してしまいこのような形となりました。

話は変わりますが私は皆さんと接する時に心がけている二つの事があります。一つ目は「褒める」こと。社長達は部下しかいません。そんな中社長を「褒める」人は少ないので決算などで良い結果が出来た時などはたくさん「褒める」事を実行してきました。二つ目は「頑張れ！」と言わないこと。私はいつも病院の先生から必ず言われます。それは「頑張らなくていいよ」と。理由を聞いたところ「世の中になにも頑張っていない人はいない。みんな必死に頑張っている。それなのに又頑張れと言われると辛いでしょ」と。

右上に続く

今月の教えてキーワード:【プラットフォーム】

第三者がビジネスを行うための基盤プラットフォームを提供する企業のこと。検索やネット通販、SNS、広告配信など第三者がインターネット上で使用するソフトウェアやアプリケーションなどを構築および提供し運営を手掛ける。現在、主力であるアメリカの大手企業のグループアップル、フェイスブック、アマゾン、グーグルは頭文字を取り「GAFAM」と称される。

一方でこれらの企業によるデータの不正利用や寡占化が問題視されています。

【客の声は聞くな！】

「お客さまの声をよく聞きなさい」といわれます。商売のヒントも答えも、全てはお客さまの声にあるという考え方は、顧客満足を追求するうえでは大切です。ところが、顧客の意見をできるだけ取り入れた結果、商品がまったく売れなかったという話もあります。顧客がデタラメを言ったのでしょうか？それとも顧客の意見を読み違えたのでしょうか？『ユーザ中心ウェブビジネス戦略』という本によれば、これは人間の無意識による結果だそうです。行動心理学とデータ分析で多くの顧客の行動を観察してきたという本書の中で、興味深い事例が紹介されています。

ある食器メーカーが主婦5人に「次に買うとしたらどんな食器が欲しいですか？」と聞くと話し合いの結果「黒くて四角いおしゃれなお皿が欲しい」という意見でまとまりました。その帰り際に「お礼としてサンプルの食器の中から好きなお皿をひとつお持ち帰りください」



と言うと、なんと5人全員が「白くて丸いお皿」を選んだとか。その理由は「自宅のお皿は丸いものばかりなので、丸いお皿でないと重ねて置けない」「テーブルの色に合わせて食器は白でそろえている」などだったそうです。このような結果がでた理由のひとつは想像力の限界だそうです。「黒くて四角いおしゃれなお皿」は主婦5人の想像で、具体的にあるわけではありません。人は、具体的でないものに対して良し悪しの判断をつけられないようです。

もうひとつは認められたい願望です。グループで話し合うと、他のメンバーや質問者に認められやすい発言をしがちだそうです。主婦がデタラメな話し合いをして「黒くて四角いお皿」と言ったわけではなく、人間の無意識がなせる「認識」や「認知」の表れ方のひとつなのだそうです。

顧客の声なんてアテにならないという話ではなく、どのように聞き出しどのような分析をするかが大切です。

税理士法人 中央総合会計 井内 敏樹

寸法で組まず 木の癖で組め

今を生きる！ 先人の言葉

法隆寺専属の宮大工である西岡常一の言葉。人にもそれぞれの環境で身に付いた癖がある。強引に枠にはめようとせず、それぞれの癖を生かした仕組みを考えよう。

【スマホを落とした だけなのに】

志駕晃のデビュー作ながら、映画化のオファーが殺到した人気のミステリーです。スマホを落としたためにSNSを介して追い詰められていく主人公。

読後にSNSを退会する人が続出した逸話もうなずけます。

